

じんけん へいわ 豊中 通信

No. 1
2020.9



人権平和センター豊中の外観



子ども事業の受付



平和展示室



人権平和センター螢池の外観

編集・発行：一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会（豊中市委託事業）
〒561-0884 豊中市岡町北3-13-7 人権平和センター豊中内
TEL：06-6841-5300 FAX：06-6841-6655
Mail：bwz37306@nifty.com HP：http://toyojin.secret.jp/

「豊中市立人権平和センター」開設にあたって

みなさん、はじめまして。館長の佐津川です。新型コロナウイルスの影響ですっかりごあいさつが遅れてしまいましたが、この春から豊中人権まちづくりセンターと蛍池人権まちづくりセンターは、人権平和センター豊中と人権平和センター蛍池となりました。

センターは、蛍池を分館とし、2館を一体として、基本的人権尊重の精神に基づき、差別や偏見のないまちづくりを推進し、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決を図ることで、平和な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

特に「人権平和センター豊中」3階では、「平和展示室」を新たに設け、「平和」に関わる機能を強化しています。

展示内容は、豊中市が行っている「非核平和都市宣言」に基づき、戦争の惨禍と平和の尊さを後世に伝え、平和で平等なまちづくりに寄与するため、空襲に視点を置きました。

具体的には、現代史年表や終戦直後と現在の豊中市を比較した航空写真、空襲の歴史や豊中空襲の被害状況などを解説したパネル、空襲体験画や当時の写真、



また寄贈いただいた戦争遺品や生活用品などを展示しています。広島や長崎での原爆被害や豊中市の兄弟都市で

ある沖縄市を紹介するコーナーも設けました。

また、今までの取り組みを発展的に実施し、「一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会」に「相談及び人権・平和啓発事業」「こどもの学び・居場所事業（豊中）」「こども多世代ふれあい事業（蛍池）」を委託することとしました。

これからも「人権」や「平和」に関わる様々な取り組みを職員やみなさま方と共に進めてまいりたいと思います。改めて、よろしくお願いいたします。

人権平和センター館長

「平和展示室について」

戦後75年・被爆75年の節目の年に、「人権平和センター」を設け、3階に常設の平和展示室を開設しました。

第1展示室は、豊中にも戦争の歴史があったことを伝えるコーナーです。1945年（昭和20年）の6月と7月に、豊中のまちは米軍による空襲を6度受けました。その被害は、大阪で3番目という大きなものでした。大阪大空襲体験画や当時の写真などから、空襲の被害の大きさや戦争の恐ろしさを感じていただけたらと思います。なぜ豊中のまちが空襲を受けたのでしょうか。その手がかりは、当時の航空写真やパネルの中に隠されています。

同時に、豊中のまちから兵士として戦地に向かった人もいて、その中には、生きて帰ってこない人も数多

くいました。戦争遺品や衣装、資料などから、当時の様子を想像してみてください。そして、第二次世界大戦はなぜ起きたのかについてもぜひ考え



てみてください。

このほか、広島や長崎に落とされた原子爆弾など核兵器の恐ろしさと、地上戦が行われた沖縄の記憶

を伝える第2展示室や、豊中市内の戦跡や慰霊の石碑などを紹介した第3展示室もあります。

多くの方に見学に来ていただき、戦争の悲惨さや平和の大切さについて考える機会にしてもらえたら、こんなに嬉しいことはありません。見学時間は日曜、祝日、年末年始をのぞく9時～17時までです。皆様のご来館を心よりお待ちしております。（人権平和センター豊中・企画調整係）

人権平和センターに遊びに来てください

(一財)とよなか人権文化まちづくり協会では、豊中市からの委託事業として、人権平和センター豊中・螢池を拠点に、市内の小・中学生を対象に出会いの場やふれあいの場としての居場所を提供しています。遊びや学習も含めた様々な体験・交流の機会を持つことで、子どもたちの自己肯定感や自尊感情を育むとともに人との関わりやつながりの中で人権感覚を磨き自分らしく生きる力を育む機会としています。ぜひ遊びに来てください。

子どもの学び居場所事業（人権平和センター豊中）

2階のぼかぼかルームや第2小集会室、大集会室で、折り紙や塗り絵をしたり、持参した携帯ゲーム機やカードゲームで遊んでいます。センター近隣の子どもだけでなく校区外から遊びに来てくれる子もいます。また、3階の学習室では、小学3・4年生、5・6年生、中学生を対象に月2回の学習クラブを実施しています。（問合せ：06-6841-5300）



子ども多世代ふれあい事業（人権平和センター螢池）

遊びに来た子どもたちは、まず最初に講座室や図書室で学校の宿題をするのが日課になっています。その後、折り紙やカルタをしたり、人数が多い日はホールを使ってドッジボールやバドミントンをして遊んでいます。小・中学生を対象にした学習クラブのほか、スポーツクラブや太鼓クラブも行っています。（問合せ：06-6841-2315）



開館日・時間：月曜～金曜日は午後2時～午後5時まで（日曜・祝日・年末年始はお休み）
毎週土曜日と小中学校の春休み、夏休み、冬休み期間は午前10時～午後5時まで
※遊びに来るときはマスクと飲み物は忘れずに持ってきてください。

資料室 新着図書のご案内

人権平和センター豊中資料室では、図書の貸出しを行っています。貸出しを希望される場合は、協会事務局までお申し出ください。
利用時間：月～土曜日 9時～17時（日曜、祝日、年末年始を除く）

「新型コロナウイルスの真実」

著：岩田健太郎 発行：ベストセラーズ
感染症専門医の第一人者が語る感染不安への処方箋。ダイヤモンド・プリンセスになぜ乗船し、なぜ私は追い出されたのか。動画公開に至るまでの顛末。新型コロナウイルスの正体と感染対策をこれ以上なく分かりやすく解説した決定版。

「アメリカ白人が少数派になる日」

著：矢部武 発行：かもがわ出版
2045年、アメリカの白人はついに少数派になる。そのことへの恐怖心が、アメリカ白人をトランプ支持に駆り立てる。アメリカで共生社会は実現するのか？アメリカ社会を30年以上にわたり取材してきたジャーナリストが放つ衝撃の書。

「コロナ禍での入院」

4月、母が71歳の誕生日の前日に緊急入院しました。病名は急性膵炎。背中に激痛が走り、嘔吐を繰り返しました。主治医ではない当直医は「どんだけアルコール飲んだんや！」と激怒するも、母はこの期に及んで「飲んでません」と返答したそうです。しかし医師は「飲んでなかったらこんなに膵臓の数値が悪いわけない！」と更に激怒。さすがの母も「すいません。飲みました」と認めました。

3年前に入院したときは、「好きなビールを完全に我慢してストレスを溜めて体を壊すぐらいなら、少しぐらい飲んでもいいよ」と主治医は言ってくれたのですが、加齢とともに膵臓も弱ってきているのか、今回は「ビールは絶対にダメ。飲みたければノンアルコールビールにしなさい」と口酸っぱく怒られたそうです。その後の禁酒で膵臓の数値も落ち着き、MRIの結果も問題はありませんでした。

膵炎には特効薬はなく、ビールや揚げ物などの刺激物を控えて、薄味の食事を心がけることしか数値を下げる方法はありません。カフェインも刺激物だからなのか、コーヒーもダメだと言われたそうです。元々、食が細くビールを飲む以外はこれといって気



になるような食生活ではない母よりも、血圧も血糖値も高いのに揚げ物、インスタントラーメン、甘い物が大好きな父の食生活のほうが問題あるように思いますが、いまのところ父も元気です。

幸い、一週間ほどで退院できましたが、コロナ禍で緊急事態宣言が発出されていたため、お見舞いにも行けず、着替えや荷物なども看護師さんに預けて母に渡してもらおうというやりとり。入院中の母には孫の写真や動画を送ったりしましたが、突然の一人暮らしを強いられた父も大変だったでしょう。

再びコロナウイルスの感染が広がりを見せています。コロナのニュースばかり見ていると気分も落ち込みがちです。持病がある方にとっては感染リスクの不安も大きいですが、楽しいことをたくさん考えて「ハッピーホルモン」(オキシトシンというそうです)の分泌を促し、免疫を上げて健康を保つよう心掛けたいです。(まちづくり協会事務局)

こんな時どうすればいいの？

これって人権侵害では？

ひとりで悩まないで
お電話ください



日常生活で困りごとがある

人間関係で悩んでいる

人権相談 ☎ 06-4865-3655

月・水・金曜日の9時～17時(12時～13時を除く)

総合生活相談 ☎ 06-4865-3713

火・木・土曜日の9時～17時(12時～13時を除く)

※日曜、祝日、年末年始はお休みです。

※面談での相談は事前予約が必要です。まずはお電話ください。

ともだち子ども園より

保育をとおして伝えたい大切なこと

私たちが大切にしていること

この4月に「豊中人権まちづくりセンターこども園」は新たに「ともだちこども園」という名



前になりました。園の名前が変わっても、豊中解放会館保育所（1973年～2001年）の時代から先駆的にずっと大切にしてきた豊中市の人権保育基本方針にも書いている“乳幼児期から一人ひとりが人間として認められ、自らをかけがえのない存在と実感し自分らしく生きること、さまざまな活動を通してお互いの個性を認め合い尊重しあい、人との豊かな関係を築き育んでいくための保育”の取り組みについては、これからも変わることなく大切にしていきたいと思っています。

具体的には平和や命の大切さについて伝えていくことを目的に、毎年7月には平和の取り組みを、11月には人権の取り組みを行い、それぞれのクラスごとで絵本の読み聞かせやアニメ鑑賞、保育教諭による歌や寸劇などをとおして、平和や命の大切さについて一緒に考える機会にしています。子どもたちにとっては年齢的に難しいかもしれませんが、子どもたちなりの思いや感想を伝えてくれます。また、保護者にも子どもと同じ思いを持ってもらおうと、保護者向けの子育て講演会を行ったり、保育教諭と保護者が一緒に考え、取り組んでいくことも大切にしています。

子どもたちから教わったこと

日々の生活の中で、私たち大人が子どもたちから教えてもらうこともたくさんあります。

こども園では毎日いろんなできごとがありますが、ある日、子ども同士でぶつかってしま

うことがありました。ぶつかったうちの1人は泣いていましたが、もう1人は痛そうにしているものの泣いてはいませんでした。それを見た子どもたちは泣いている子だけでなく、泣いてない方の子にもか駆け寄っていき、「だいじょうぶ？痛くなかった？ケガしてない？」と優しく声をかけていました。こんな時、私たちはどうしても泣いている子にばかり意識がいきってしまいがちですが、泣いている子だけが痛いわけではありません。泣いてない子だって痛いのです。まるで自分のことのように友だちの気持ちを感じ取り、気づかう声をかけている子どもたちの姿から「友だちのことをちゃんと見ているんだな」と、大切なことを教わりました。

子どもや保護者に伝えたいこと

こども園での生活をとおして、子どもにも保護者にも、自分をもっと好きになり、自分の思いを大切にするなど、自己肯定感を持ってもらえたら嬉しいです。自分のことが好きな人や自分の思いを大切にできる人は友だちのことや他の人の思いも大切できるからです。私たちはそのお手伝いをしていきたいと思えます。

園内はいつも笑顔と元気な声であふれています。子育てや子どもさんの健康に関する相談への対応、プレイルームの開放も行っていますので、ぜひ、気軽にお越しください。

（ともだちこども園）



とよなか都市創造研究所より

魅力あふれる豊中の都市創造をめざして

研究所の役割

私たち「とよなか都市創造研究所」は今年度より北桜塚3丁目にある豊中市役所別館から人権平和センター豊中の3階に移転してきました。豊中市の持続的な発展と計画的な市政に資するため、豊中のまちづくりに大きな影響を及ぼす問題や課題について中長期的な視点に立った調査や研究を行っています。元々は1997年に「豊中市政研究所」という任意団体として設立されましたが、2007年度の機構改革によって現在は豊中市（都市経営部）の内部組織として活動しています。

現在の職員は所長や研究員、事務職員を合わせて8人です。調査研究の他にも、豊中市政資料やまちづくり・行政経営など都市政策全般に関わる文献やデータ、関係機関の資料などを収集し、必要に応じて関係部局や市民に提供するデータバンク事業、調査研究内容や都市政策に関する様々な情報をホームページや刊行物（TOYONAKAビジョン22）を通じて発信・提供する普及啓発事業、そして、職員の政策形成能力の向上や地域の課題解決を担う人材を育成する人材育成事業なども行っています。特に人材育成に関しては、2017年度より市民や職員と一緒に学び、地域の魅力を高めたり、地域の未来を創造していくことをめざした「とよなか地域創生塾」を毎年開校しています。

調査研究の内容

これまで「少子高齢社会における人口の変化と市政への影響」や「豊中市の単身世帯の生活」、あるいは「南部地域の活性化」に関する調査研究など、様々な調査研究を実施してきました。今年度は、「データ分析に基づく政策立案の推進」、「豊中市における女性の就労」、「豊中市の多文化共生の地域づくり」に関する調査研究を行っています。女性の就労につい



ては、昨年度は女性に対して就労に関するアンケートを実施しましたが、今度は女性を雇う側の企業にアン

ケートを実施します。女性が活躍できる社会をめざしていく中で、ワーク・ライフ・バランスなども含めて女性は企業にどんなことを求めているのか、また、企業はどう考えるのかなど、そういったことを調査していくのが狙いです。

もう一つの「多文化共生の地域づくり」ですが、調査の背景には社会問題にもなっている外国人へのヘイトスピーチやレイシズムが大きく関係しています。市民の多文化共生意識を高め、差別や偏見をなくしていくことを目的に豊中市民の外国人に対する意識や多文化共生に対する意識について調査をしていく予定です。

これからのこと

これから私たちは人権平和センター豊中を拠点に活動していくこととなりますが、魅力ある豊中の未来を創造していくうえで人権・平和は重要なキーワードです。これまでの調査研究についても、「女性の就労」や「多文化共生」にも言えることですが、それぞれ研究テーマの根底には人権意識が関わっていることが多かったように思います。そのような意味でとよなか都市創造研究所と人権平和センターとは様々な面で親和性が高いのではないのでしょうか。人権平和センターの事業や取り組みから様々なことを学んでいき、今後の私たちの調査研究に活用していきたいと思えます。今後ともよろしくお願ひします。

（とよなか都市創造研究所）



インフォメーション



<p>じんまち☆シネマ 10月10日(土) ① 10時～ ② 13時30分～</p>	<p>ドライビングMISS デイジー (1995年 アメリカ/99分)</p>	<p>偶数月の第2土曜日に実施している映画上映会。 1日2回上映(申込不要)</p>
<p>啓発パネル展 10月12日(月)～ 24日(土)</p>	<p>世界人権宣言を読む</p>	<p>世界人権宣言の前文や条文について紹介するパネル展。見学は9時～17時まで。</p>
<p>人権文化まちづくり講座 10月15日(木) 14時-16時</p>	<p>私たちにできること お話：土井聡子さん(大阪水上隣保館 児童養護施設「翼」主任)</p>	<p>児童養護施設「翼」(豊中市宝山町)への支援について考える参加型の講座。定員：30人</p>
<p>人権文化まちづくり講座 10月24日(土) 14時-16時</p>	<p>映画でみるレイシズム お話：中村一成さん(フリーライター)</p>	<p>映画のなかで描かれている人種差別について考える講座。定員：30人</p>
<p>人権文化まちづくり講座 11月7日(土) 10時-12時</p>	<p>映画「アイたちの学校」上映会 会場：とよなか男女共同参画推進センターすてっぴ</p>	<p>朝鮮学校の歴史と現状を描いたドキュメンタリー映画を上映。定員：70人</p>
<p>人権文化まちづくり講座 11月14日(土) 10時-12時</p>	<p>被差別部落と多文化共生～マイノリティ3人が問いかけるルーツの話～ お話：黒島トーマス友基さん、三木幸美さん(とよなか国際交流協会職員)、重本洋輔(とよなか人権文化まちづくり協会事務局) 会場：とよなか国際交流センター</p>	<p>それぞれが自分の出身やアイデンティティについて語るトークセッション。定員：45人</p>
<p>人権文化まちづくり講座 11月20日(金) 18時30分-20時30分</p>	<p>部落問題の今とこれからの人権教育 お話：宮前千雅子さん(関西大学人権問題研究室委嘱研究員) 会場：人権平和センター螢池</p>	<p>部落差別と人権教育の現状について学ぶ講座。定員：50人</p>

※会場の記載がないものは人権平和センター豊中が会場です。すべて参加無料です。
参加の際はマスクの着用にご協力ください。新型コロナウイルスの感染状況により、事業が延期または中止になる可能性があります。ご了承ください。

人権文化まちづくり講座の申込み・問合せは(一財)とよなか人権文化まちづくり協会まで
TEL: 06(6841)5300 FAX: 06(6841)6655 MAIL: bwz37306@nifty.com

施設の利用案内

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、3密（密集、密接、密閉）を防ぐ対策及び利用人数の制限を行っています。

※市外居住利用者は、使用料が10割加算になります。

人権平和センター豊中（豊中市岡町北3-13-7）

TEL：06-6841-1313 FAX：06-6841-1310

部屋名 \ 時間	午前9時～ 午前12時	午後1時～ 午後5時	午後6時～ 午後10時	午前9時～ 午後10時
ホール（228人）	6,500円	8,000円	8,000円	22,500円
第1小集会室（24人）	1,400円	1,800円	1,800円	5,000円
第2小集会室（24人）	1,400円	1,800円	1,800円	5,000円
大集会室（54人）	2,200円	2,900円	2,900円	8,000円
料理室（20人）	1,600円	2,200円	2,200円	6,000円
第1学習室（24人）	1,400円	1,800円	1,800円	5,000円
第2学習室（24人）	1,400円	1,800円	1,800円	5,000円

人権平和センター螢池（豊中市螢池北町2-3-1）

TEL：06-6841-5326 FAX：06-6841-8899

部屋名 \ 時間	午前9時～ 午前12時	午後1時～ 午後5時	午後6時～ 午後10時	午前9時～ 午後10時
ホール（180人）	2,800円	3,600円	3,600円	10,000円
講座室（24人）	1,000円	1,500円	1,500円	4,000円
料理室（16人）	1,000円	1,400円	1,400円	3,800円

人権平和センターの設置趣旨に沿った利用（人権啓発や住民の交流活動など）は、使用料が減免になる場合があります。詳細については各センターにお問い合わせください。

人権平和センター豊中は空調設備改修工事等のため利用できません

人権平和センター豊中では施設の老朽化に伴い、2020年11月1日（日）から2021年5月31日（月）まで、空調設備改修工事等を行います。そのため、工事期間中はホールや貸室等の利用はできません。ご迷惑をおかけしますがご理解のほどよろしくお願い致します。

●あしがき●

新型コロナウイルスに関しては、全国一斉休校にはじまり、外出自粛要請、緊急事態宣言など、これまで体験したことのない出来事が次々と起こりました。そして、いまだ収束の兆しは見えてきません。そんな中ではありますが、人権平和センター情報紙「じんけんへいわ通信」第1号をようやく発行することが

できました。現在、人権平和センター豊中と螢池、とよなか人権文化まちづくり協会では、人数制限や事前予約制などを設けながらそれぞれの事業を実施しています。経験のないコロナ対策・対応に戸惑うこともありますが、皆で力を合わせてコロナ禍を乗り越えていきたいと思っております。これからもよろしくお願い致します。（まちづくり協会事務局）